NIEしもつけ ワークシート ⑭

下野新聞

中学生向け

年　組

「簡単な道のりではない」

絆の強さ信じてチームまとめる

揺れるアスリート TOKYO 2020

新体操団体主将の杉本

昨年9月の世界新体操選手権の団体種目別決勝で、金メダルを獲得したボールを演技する杉本早裕吏（中央手前）＝パクー

6年前の秋に新体操の団体で日本代表の主将を任され、2016年リオデジャネイロ五輪も経験。杉本早裕吏（トヨタ自動車）は国内外で年間約350日の厳しい合宿生活を送り、時に10歳以上も年齢差があるチームを 1 ■にまとめてきた。その先にあるはずだった■の舞台が遠さかった。

既に24歳と新体操界でベテランの域。「1年は簡単な道のりではない。（来夏に）五輪が本当に開催されるかも分からないし、自分がメンバーとして出場できるかも分からない。今までにないくらい悩んだ」と 3 した。

東京五輪の延期決定前、新型コロナウイルスの感染拡大で国際大会が相次いで取りやめになっても「演技の細かいところまで徹底して練習できる」とチームを 4 した。コーチ陣が新型コロナにかかったときのことを想定して3月中旬には1週間、選手だけで練習したりと工夫もした。

連日7時間以上の練習は昼食以外、ほとんどぶっ続け。普段はおっとりした性格だが、ミスした選手にはあえて厳しい声を掛ける。

昨年の世界選手権では金1個、銀2個のメダルを獲得。心身ともに限界まで追い込むことができたのは五輪団体総合で5連覇中のロシアを破り、日本初の金メダルを手にしたい一心だ。それだけに五輪延期には「すぐに前向きにはなれなかった」と苦しんだ。

日本体操協会の山崎浩子強化本部長に促されて名古屋市の実家に 5 し、個人で全日本選手権出場経験がある姉の多賀江さんらにも相談した。じっくりと考えて「最後までチームを自分らしく引っ張っていきたいと覚悟を決めた」という。

緊急事態宣言後は練習拠点である東京都北区の国立スポーツ科学センター（JISS）が利用できなくなった。各自が実家に戻った状況に「普段、一緒にいるだけにすごく変な感じがしている」と戸惑う。一方で「チームのみんなのことは信じている。また、元気に全員で集まることが今のモチベーション」と、積み上げた絆の強さで 6 を乗り越える。（随時掲載）

（2020年4月29日付・下野新聞17面）

記事は加工しています

帰省　苦境　鼓舞　吐露　一心不乱　集大成

設　問

【1】①2016年の五輪開催国と、②その五輪の女子新体操団体総合において金メダルを獲得した国を書きましょう。

【2】文章に合うように、次の語を記事中の1～6に当てはめなさい。さらにそれぞれの語の読みをひらがなで書き、国語辞典で意味を調べて書きましょう。

【3】「」を用いて記事の一部を引用しつつ、記事を読んだ感想や杉本さんへの応援メッセージを書きましょう。

出題・監修は宇河地区中学校教育研究会国語部会・小嶋陽介宇都宮市陽西中教諭